



平成17年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成16年8月20日

会 社 名 大東港運株式会社

（コード番号：9367登録銘柄）

（URL <http://www.daito-koun.co.jp/>）

問合わせ先 代表者役職・氏名 取締役社長 曾根好貞
責任者役職・氏名 取締役管理部長 中丸英実

TEL: (03) 5476 - 9701

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理における簡便な方法の採用の有無 : 有
法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無
当四半期については、監査法人による監査を受けておりません。

2. 平成17年3月期第1四半期業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（単位未満切捨表示）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期（当期） 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	3,392	(1.6)	160	(-)	134	(-)	152	(-)
16年3月期第1四半期	3,338	(2.5)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
（参考）16年3月期	13,247		483		365		214	

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	15	76	-	-
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
（参考）16年3月期	22	38	-	-

（注）1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 営業利益・経常利益・四半期純利益につきましては、当四半期より開示を行っているため、前年四半期の数値の記載を省略しております。

（参考）経営成績（個別）の進捗状況

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期（当期） 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	3,204	(0.8)	150	(-)	145	(-)	169	(-)
16年3月期第1四半期	3,179	(2.9)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
（参考）16年3月期	12,594		425		330		203	(-)

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	18	05	-	-
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
（参考）16年3月期	21	67	-	-

（注）1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 営業利益・経常利益・四半期純利益につきましては、当四半期より開示を行っているため、前年四半期の数値の記載を省略しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期におけるわが国経済は、輸出の増加・企業収益の改善が進みながら景気回復が続く中で、個人消費・雇用情勢にも明るい兆しが見られるようになりました。

生鮮・冷凍食品のわが国輸入量におきましては、牛肉・鶏肉が減少しましたが、豚肉・水産物が増加したため、全体としては好調に推移いたしました。

このような状況下において、当企業集団は営業活動に積極的に取り組んだ結果、食品の取扱においては前年同期比を上回る取扱量を確保し、鋼材の取扱においても堅調に推移いたしました。

その結果、当第 1 四半期の連結売上高は前年同期間に比較し 5 4 百万円増（ 1 . 6 % 増 ）の 3 3 億 9 2 百万円になりました。

利益面においては、取扱量の増加に伴い連結経常利益は 1 億 3 4 百万円、連結四半期純利益は 1 億 5 2 百万円になりました。

3 . 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	6,600	220	390
通 期	12,600	300	410

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 43 円 19 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

中間期及び通期の業績予想の修正については、本日付当社「平成 1 7 年 3 月期中間（連結・単独）業績予想及び通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ」において行っております。

（修正理由）

中間期の見通しといたしましては、BSE・鳥インフルエンザの影響による取扱量の減少を予想しておりましたが、第 1 四半期は牛肉・鶏肉の取扱量が予想以上に増加し、さらに水産物・鋼材の取扱量も好調に推移いたしました。第 2 四半期も堅調に推移することが見込まれますので、上表の通り業績予想を修正いたします。

通期の見通しといたしましては、BSE による米国産牛肉の輸入停止解除の見通しが不透明であることから所期通りの取扱量の回復が難しいと予想しておりますので上表の通り業績予想を修正いたします。

（参考）平成 17 年 3 月期の個別業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	6,300	230	200
通 期	12,000	290	310

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 33 円 02 銭

上記の予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づくものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

以 上